

第 129 回毛髪科学技術者協会 学術大会報告

第 129 回毛髪科学技術者協会 学術大会が、平成 23 年 2 月 9 日（水）東京ガーデンパレスにて開催されました。

第一講演は、新美容出版（株）『TOMOTOMO』編集長 佐藤弘人氏より、「昨今のサロンにおけるパーマ市場」サロンが実施しているパーマ比率を増やす「努力」や「工夫」を、美容雑誌の編集長としての観点で日頃から関係の深い美容室の実情やお客様へのアプローチ方法のお話を交えて御講演頂きました。

美容室の現場の技術者が、現状のパーマ剤やカーリング剤の薬剤を「どの様に考えているのか」今後のパーマ剤やカーリング剤に対して「どの様な事を求めているのか」等のお話を頂きました。我々薬剤メーカーとして「分かっている」けど「やっていない」、「分かっていたいかなかった」から「やってない」を改めて理解できたと感じ、今後のパーマ市場を増大する為の多くを学ぶ事が出来た御講演でした。

第二講演は、（株）エフシージー総合研究所 菅原薫氏より、「ヘアデザイントレンドとヘアケア化粧品開発ー感性予測でお客様の心に響く商品づくりをー」トレンドやブームの捕らえ方や、その活用方法について御自身が実施して各方面の雑誌に発表された実験データや分析データを基に御講演頂きました。

消費者の年齢や環境が変化しても変わらぬ「求め続けるもの」と、その逆に意識の「変遷が大きい」ポイントがある事、トレンドは「7年周期」であり、それは人間のブレインサイクルから派生している等のお話を頂きました。昨今、「〇〇王子」が多いのは世の中の女性のブレインサイクルが現状「お姫様」モードである事の御説明で大きく肯く事が出来ました。最後に新製品開発の大きなヒントとして「等身大の感覚を持ち、半歩先の気分を読む」のキーワードを頂き、今後の新製品開発について多くの事を学ぶ事が出来た御講演でした。

多くの方に（参加者：142人）御参加頂き、盛会のうちに終了致しました。講師の先生お二人は過密なスケジュールのなか、懇親会まで御参加頂きました。講師の方々と運営の御協力を頂いた皆様にこの場を借りて御礼申し上げます。

次回の学術大会を 4 月に予定しております。また多くの方に御参加頂けます様、幹事一同で今後も努力して参りますので御協力お願い致します。

（文責：TS）